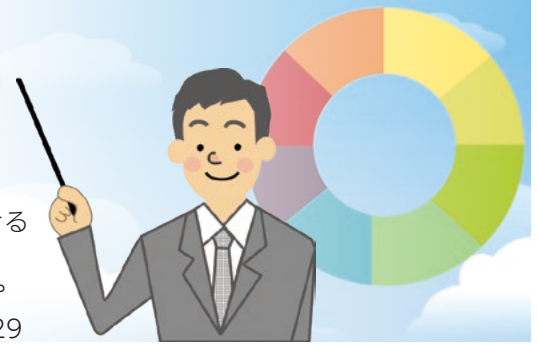


令和5年度 (令和5年4月～令和6年3月)

津幡町決算報告



決算は皆さまが納めた税金などがどのように使われたのかを知ることができる
とても大切なものです。

内訳や用語などで不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先 財政課 ☎288-2129

各会計の決算額

(万円)

| 会計名 | 歳入 ① | 歳出 ② | 差引 ①-②=③ | 翌年度 繰越額 ④ | 実質収支 ③-④=⑤ | 前年度 実質収支 ⑥ | 単年度 収支 ⑤-⑥=⑦ | 基金 増減額等 ⑧ | 実質単年度 収支 ⑦+⑧=⑨ |
|------|-----------|-----------|-------------|-----------------|---------------|------------------|--------------------|-----------------|----------------------|
| 一般会計 | 1,731,466 | 1,679,958 | 51,508 | 18,034 | 33,474 | 27,719 | 5,755 | △10,696 | △4,941 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 340,753 | 338,049 | 2,704 | 0 | 2,704 | 4,131 | △6,476 | △7,903 |
| | 後期高齢者医療 | 47,011 | 46,137 | 874 | 0 | 874 | 83 | | 83 |
| | 介護保険 | 280,665 | 277,004 | 3,661 | 0 | 3,661 | 6,027 | 4,328 | 1,962 |
| | バス事業 | 16,483 | 15,998 | 485 | 0 | 485 | 326 | | 159 |
| | 河合谷財産区 | 138 | 138 | 0 | 0 | 0 | 0 | 101 | 101 |
| | 小計 | 685,050 | 677,326 | 7,724 | 0 | 7,724 | 11,275 | △3,551 | △5,598 |
| 合計 | 2,416,516 | 2,357,284 | 59,232 | 18,034 | 41,198 | 38,994 | 2,204 | △12,743 | △10,539 |

事業会計の決算額

(万円)

| 会計名 | 収入 | 支出 |
|---------------|---------|---------|
| 病院事業 | | |
| 収益的収支 | 154,902 | 137,410 |
| 資本的収支 | 6,656 | 3,954 |
| 簡易水道事業 | | |
| 収益的収支 | 484 | 471 |
| 資本的収支 | 0 | 0 |
| 水道事業 | | |
| 収益的収支 | 80,318 | 78,845 |
| 資本的収支 | 11,567 | 36,644 |
| 下水道事業 | | |
| 収益的収支 | 143,152 | 142,600 |
| 資本的収支 | 78,810 | 135,874 |

上の表は、町の各会計決算の
一覧表です。
町では、手持ち資金である「実
質収支⑤」の額が赤字にならない
よう計画的に運営しています。な
お、歳入（収入）が不足する場合
は、基金（町の預貯金）を取り崩し
て対応しています。
そのため、基金による調整を除
いた「実質単年度収支⑨」がその
年度の純粋な収支となります。

△一般会計
広く町民のために実施される事
業に使われ、町財政の中心を担う
ものです。
令和5年度末では、手持ち
資金が3億3,474万円とな
り、前年度と比べて5,755万
円増えました。しかし、基金を
1億696万円使ったので、実質
的には4,941万円の赤字とな
りました。

△特別会計
国民健康保険や介護保険など、
特定の目的・人を対象に実施する
事業に使われます。収支を明確に
するため、一般会計とは別に経理
します。

△事業会計
収益をあげて運営する事業に使
われ、現金収支に加えて資産状況
も計上することで、収支状況をよ
り明確にすることができます。
上の「事業会計の決算額」の
「収益的収支」は事業の運営状況
を、「資本的収支」は施設の整備状
況を表しています。

町では、さまざまな試算を行
い、今後予定している事業を含
め、中・長期的な視野を持って財
政運営しています。

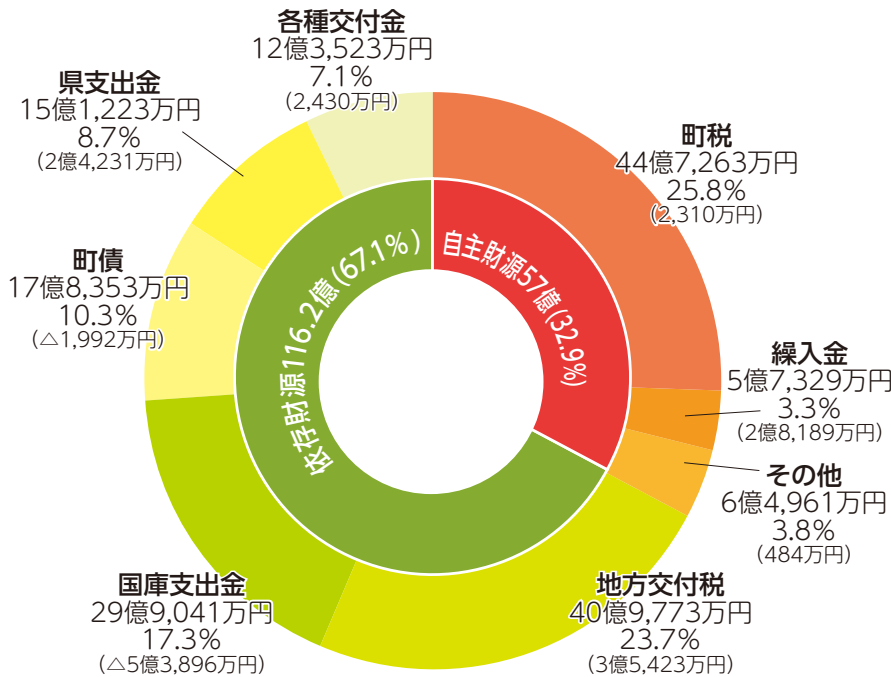
一般会計「歳入」

前年度と比較すると、歳入全体
は増加となりました。
自主財源ではすべての科目で増

各事業で経営改善に取り組ん
でおり、令和5年度の収益的収支
は、すべての事業で黒字となりま
した。各事業の資本的収支の不足
額は、現金支出を伴わない減価償
却費などの留保資金で補填しまし
た。

歳入173億1,466万円 (3億7,179万円)

※ () 内の数字は、
前年度比の増減額



加となり、特に「繰入金」については、令和5年7月豪雨災害復旧に係る財政調整基金の繰入により増加額が大きくなっています。
依存財源では、「国庫支出金」「町債」が減少しましたが、「地方交付税」「県支出金」の増加額が大きくなり、全体では増加となりました。「国庫支出金」は新型コロナウイルス感染症対策関係交付金及び、住吉公園整備事業の完了に伴

は増加となりました。
前年度と比較すると、歳出全体は増加となりました。
「一般会計」歳出は、災害復旧事業費の増などにより増加しました。
う社会資本整備総合交付金の減により、「町債」は臨時財政対策債の減により減少しました。「地方交付税」「県支出金」については、災害復旧事業費の増などにより増加

一般会計「歳出」

歳出167億9,958万円 (1億6,455万円)

増加となった主な科目とその要因として、「災害復旧費」は令和5年7月豪雨や令和6年能登半島地震の災害復旧事業費の増、「教育費」は運動公園整備事業費の増、「労働費」はサンライフ津幡寿命化改修事業費の増などが挙げられます。減少となった主な科目とその要因として、「土木費」は住吉公園整備事業費の減、「商工費」は小規模事業者事業継続等支援事業費やプレミアム商品券発行事業費の減、「衛生費」は新型コロナウイルスワクチン接種事業費の減などが挙げられます。

町民1人あたり
年間449,487円のお金が使われました



※令和6年3月末人口 37,375人で算出

56億3,219万円 33.5%
(1億9,921万円)

民生費

老人福祉、障害福祉、保育などに使われます。

18億6,066万円 11.1%
(1億2,573万円)

総務費

戸籍や選挙、徴税などに使われます。

13億1,991万円 10.8%
(3億2,867万円)

教育費

教育、文化、体育施設の充実に使われます。

17億7,420万円 10.6%
(△14億4,838万円)

土木費

道路・公園・河川の建設管理、都市整備などに使われます。

14億6,014万円 8.7%
(△6,839万円)

公債費

町の借入金返済に使われます。

11億7,218万円 7.0%
(△1億2,723万円)

衛生費

町民の健康増進、ごみ処理などに使われます。

11億6,656万円 6.9%
(11億1,161万円)

災害復旧費

災害被害を復旧するために使われます。

6億8,398万円 4.1%
(△812万円)

農林水産業費

農地・農道・林道整備などに使われます。

4億7,728万円 2.8%
(△6,347万円)

消防費

消防・救急活動の運営や管理に使われます。

3億2,984万円 2.0%
(△1億3,428万円)

商工費

商工業や観光の振興に使われます。

2億8,469万円 1.7%
(2億5,330万円)

労働費

勤労者に対する金融支援などに使われます。

1億3,795万円 0.8%
(△410万円)

議会費

議員報酬などの議会運営に使われます。

町債(借金)と基金(預貯金) 残高はともに増加

町では、道路などの公共施設を整備する際には、一時的に多額の資金が必要となるため、現在の財政状況を圧迫させることのないよう、借入れを行っています。また、道路や施設は、長期間にわたって利用されるものですので、子や孫の世代にも「借入金の返済」という形で公平に負担してもらおう役割もあります。

一般会計では、借入額は前年度に比べ減少しましたが、償還額を上回る額となったため、町債残高は増加しましたが、町全体では減少となりました。

また、財源不足や大規模災害などの不測の事態に備えて「財政調整基金」の積立をしています。「財政調整基金」は令和元年度より残高が増加していますが、今後は近年実施した新庁舎建設や屋内温水プール整備などの大型事業及び災害復旧事業のために借り入れた町債の元金償還開始により、残高は減少していくと見込んでいます。

今後も、現在と将来のバランスを見きわめながら、計画的に借り入れを行っていきます。

町債年度末残高の内訳

| 会計名 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 一般会計 | 142億562万円 | 159億7,083万円 | 166億9,825万円 | 170億4,042万円 | 174億3,567万円 |
| バス事業 | 5,676万円 | 5,072万円 | 4,318万円 | 5,624万円 | 5,559万円 |
| 病院事業 | 3億1,701万円 | 2億8,286万円 | 1億8,895万円 | 2億8,133万円 | 2億7,291万円 |
| 水道事業 | 23億4,903万円 | 24億1,053万円 | 23億4,912万円 | 22億9,327万円 | 21億7,252万円 |
| 下水道事業 | 131億2,844万円 | 126億4,285万円 | 122億319万円 | 118億8,898万円 | 112億7,391万円 |
| 合計 | 300億5,686万円 | 313億5,779万円 | 314億8,269万円 | 315億6,024万円 | 312億1,060万円 |

基金年度末残高の内訳

| 基金 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 財政調整基金 | 7億6,022万円 | 10億4,732万円 | 17億5,223万円 | 21億2,260万円 | 21億6,564万円 |
| 減債基金 | 69万円 | 69万円 | 1億4,304万円 | 1億4,314万円 | 1億8,122万円 |
| その他特定目的基金 | 4億3,771万円 | 2億4,349万円 | 1億9,424万円 | 1億9,192万円 | 2億1,053万円 |
| 合計 | 11億9,862万円 | 12億9,150万円 | 20億8,951万円 | 24億5,766万円 | 25億5,739万円 |

津幡町の財政は健全？ 健全化判断基準

財政健全化判断比率とは、町の財政が健全であるかを判断するための指標です。この数値が国の示す「早期健全化基準」を超え、さらに「財政再生基準」も超えると、財政破綻したとみなされます。

下表のとおり、令和5年度末の津幡町の比率は、実質公債費比率が7.5%、将来負担比率が77.6%、そのほかの比率は赤字額や資金不足額がないため表示されません。

いずれも国の基準を下回ることから、町の財政は「健全」と判断されます。今後も、将来の財政負担を見据えた健全な財政運営につとめていきます。

津幡町民の皆さまへ
津幡町の財政状況は「健全」です



津幡町の各指数と国の基準指数

| 指標 | 説明 | 津幡町 | | | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|---------|--------------------------------------|-------|-------|-------|---------|--------|
| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 健全化判断比率 | 実質赤字比率 | — | — | — | 13.54 | 20.00 |
| | 連結実質赤字比率 | — | — | — | 18.54 | 30.00 |
| | 実質公債費比率 | 7.7 | 7.3 | 7.5 | 25.0 | 35.0 |
| | 将来負担比率 | 61.7 | 73.3 | 77.6 | 350.0 | — |
| 資金不足比率 | 簡易水道・病院・水道・下水道会計の資金不足額から、経営状況の深刻度を見る | — | — | — | 20.00 | — |

※赤字額・資金不足額が発生しない場合は、数値化されません

快適で安全・安心を実感できるまち

| | |
|---|------------|
| 下水道整備費（管渠工事、浄化センター更新工事など） | 13億5,874万円 |
| 道路整備・管理費（町道・橋梁の整備、維持管理など） | 3億9,544万円 |
| ごみ処理費（収集・処分・撤去、つばたReco管理など） | 2億5,943万円 |
| 津幡駅東口整備事業費（道路詳細設計、土地購入費、建物移転補償費など） | 2億5,529万円 |
| 除雪対策費（除雪業務、消雪装置整備など） | 2億308万円 |
| 定住促進事業費（住宅取得等奨励金、結婚祝金など） | 1億5,463万円 |
| 環境保全費（LED照明灯設置、街灯管理・設置費補助、再生可能エネルギー導入促進補助金など） | 8,381万円 |
| 消防施設整備事業費（高規格救急自動車更新整備、小型ポンプ更新整備、消防分団車庫改修など） | 6,028万円 |
| 井上地区防災備蓄施設整備事業費 | 3,080万円 |
| 並行在来線対策費（通学定期券購入補助、I Rいしかわ鉄道支援など） | 3,003万円 |



地域防災力の向上「井上地区防災備蓄施設」整備

地域の魅力を磨き 交流と活力が生まれるまち

| | |
|--|-----------|
| 農地費（土地改良施設整備など） | 2億5,584万円 |
| 農業振興費（農業従事者への支援、農業振興対策など） | 1億2,502万円 |
| 商工振興費 （小規模事業者事業継続等支援事業、つばた元気応援プレミアム商品券、 中小企業支援、商工会運営費補助、つばたお店巡りマラソン実施など） | 1億1,288万円 |
| 林業振興費（鳥獣捕獲事業、森林保全対策など） | 7,652万円 |
| 観光費（大河ドラマ誘致、観光地管理など） | 6,256万円 |



プレミアム率40%「プレミアム商品券」

笑顔があふれ 誰もが元気に暮らせるまち

| | |
|--|------------|
| 児童保育運営費（町立認定こども園の運営、民間保育施設への負担金・補助金など） | 16億5,209万円 |
| 障害福祉費（医療費一部助成、介護・訓練サービス利用支援など） | 11億1,109万円 |
| 子ども医療給付費（医療費の一部助成） | 1億7,466万円 |
| 学童保育・運営費（全16放課後児童クラブの運営委託、物品購入など） | 1億4,702万円 |
| 予防接種費（定期予防接種、インフルエンザ予防接種など） | 1億1,844万円 |
| 母子保健事業費（妊婦・乳幼児の無料健診、不妊治療費の助成など） | 5,873万円 |
| 老人福祉費（長寿祝品、福祉バス運行、ウェルピア倉見管理など） | 5,483万円 |
| がん検診費（各がん検診を集団と個別で実施） | 3,690万円 |
| 河北中央病院の医療機器購入費（眼底カメラ、ベッドサイドモニタなどの購入） | 973万円 |



なかなかできない測定や運動を体験「健康まつり」

未来を見つめ みんなで学び成長するまち

| | |
|---------------------------------------|-----------|
| 小・中学校管理費（施設維持、備品購入、給食管理など） | 6億5,156万円 |
| 体育施設管理費（スポーツ施設の管理、津幡運動公園・総合体育館の改修など） | 4億39万円 |
| 住吉公園整備事業費（住吉公園に屋内温水プール施設を整備など） | 2億93万円 |
| 文化会館費（シグナス・図書館管理、自主事業など） | 1億7,502万円 |
| 小・中学校情報教育推進事業費（パソコン・学習用ソフト・電子黒板リースなど） | 4,970万円 |
| 小・中学校就学奨励費（学用品費・給食費など学校費用の一部を援助） | 2,196万円 |
| 中学校部活動支援費（部活動補助金、部活動指導員配置、大会派遣費補助など） | 1,628万円 |
| 科学教育振興事業費（こども科学館管理、科学の祭典など） | 1,265万円 |
| 小学生（国内）・中学生（海外）派遣事業費 | 1,187万円 |



国際感覚豊かな人材の育成「中学生海外派遣交流事業」

ともに支え 絆を深めるまち

| | |
|--|---------|
| 地域活動拠点整備費（コミュニティ施設補助金、公民館管理など） | 4,965万円 |
| 選挙費（石川県議会議員選挙、町議会議員選挙など） | 2,596万円 |
| 広報費（広報つばた発刊、ケーブルテレビ番組制作、町ホームページ・SNSの管理など） | 2,420万円 |
| 社会福祉事業費 （各地区住民主体の地域福祉活動、町地域福祉計画策定、社会福祉協議会補助金など） | 1,677万円 |



さまざまな番組を放送「チャンネルつばた」